

■ 編集委員会から

Next steps and next challenges

日本心臓核医学会雑誌編集委員長 吉永恵一郎

国立研究開発法人放射線医学総合研究所 分子イメージング研究センター

学会活動の一層の充実を目指し日本心臓核医学会でも学会雑誌の英文化の準備を進めてきましたが、昨年8月末に刊行計画に基づき、創刊号 Annals of Nuclear Cardiology (ANC) を刊行することができました。会員の先生方のお手元にブルーの表紙の新雑誌が届いているかと思えます。この新雑誌は心臓核医学領域の臨床および技術面の学術成果の発表および会員の先生方の教育に活用していただける論文を掲載する方針としております。

創刊号につきまして多くの先生方のご支援の元、貴重な論文原稿を投稿いただきましたことに大変感謝する次第です。また編集委員および学会員の先生方にも忙しいなか、投稿論文の査読をしていただきましたことにも大変感謝する次第であります。英文誌発刊はご支援いただきました学会事務局の春恒社の方々にとっても初めての試みで試行錯誤を当初は繰り返していましたが、最終的には充実した雑誌を刊行することができたのではないかと思います。しかし、再度内容をみますと、改善が必要な点も多々あります。先生方から改善すべき点につきご教唆いただければと思います。

今回の創刊号にて、学会誌の英文誌化という目標を達成できました。つぎのステップは誌面のさらなる充実と原著論文および技術系論文の投稿の増加を目指し、当初からの目標である会員の先生方の学術成果の発表の場として ANC が役割を果たせるようにすることです。そのためには掲載された論文が世界の多くの研究者からみていただける体制を構築することが必要です。現在、科学技術庁が運営する J-Stage へ申請を行っております。雑誌がすでに発刊され充実した内容であることは審査の過程で理解していただけるかと思

います。さらに米国の US National Library of Medicine が運営しています PubMed への掲載論文の収載につき申請を予定しております。申請条件としましては abstract があり論文の基準を満たした学術論文が 50 編刊行されていることが必要となります。創刊号が論文 21 編でしたので、可能であれば第 2 号にて 50 編の論文数をクリアし PubMed への申請ができればと願っております。このためにも、会員の先生方にぜひ、ANC へ論文を投稿していただき、サポートしていただければ幸いです。

編集委員は投稿論文に対しては supportive に対応しておりますので、ぜひ若手の研究者の方々に最初のステップとして ANC への投稿を検討していただければと思います。米国心臓核医学会の機関誌である Journal of Nuclear Cardiology (JNC) の編集委員長である Dr. Iskandrian が日本の研究者へ向けて論文執筆につき ANC へ寄稿してくださっています。Dr. Iskandrian が述べたように本誌も学術雑誌ですので、論文のなかに新規性が重要です。また ANC も世界中からすでにアクセス可能ですので、世界の研究者に内容が伝わるように Dr. Iskandrian の助言を参考にして論文の準備を進めていただければと思います。

PubMed 掲載のつぎに最も重要な Impact factor 獲得のための申請が控えております。この目標を達成するには各号 20 編以上の論文刊行が必要です。この点からも先生方からのご投稿をお待ちしております。

ANC は JNC とともに心臓核医学に特化したユニークな雑誌で海外からも期待されています。会員の皆さまにこの新雑誌がさらなる飛躍を遂げるよう、ご支援を頂戴できればと望む次第であります。